



東京YMCA

2017 4 月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 菅谷 淳
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

総主事交代

第14代総主事に菅谷 淳氏

廣田光司氏は任期満了で退任

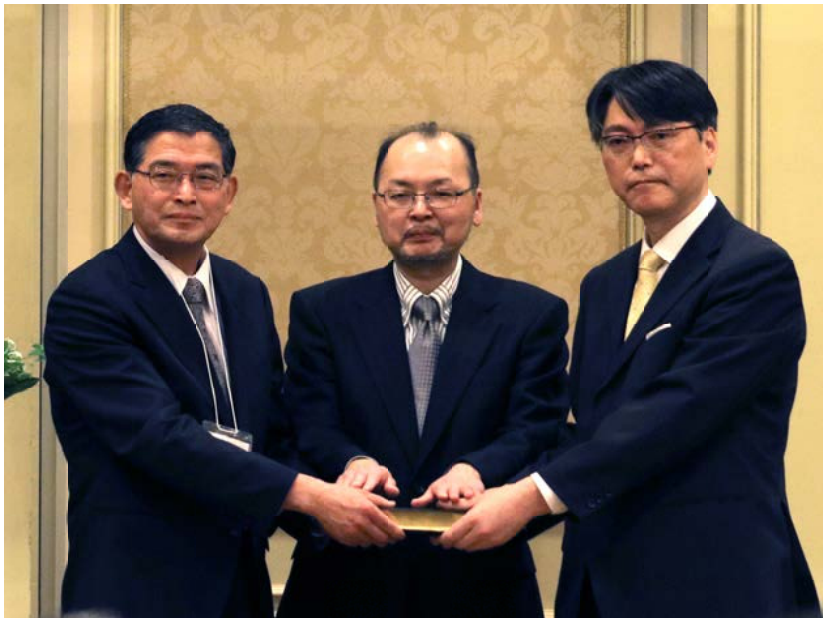


全国から170人余が出席。当初予定の会場を変更し、リーガロイヤルホテル東京で開催しました。



↑海外からの来賓(写真左から)バンングラデシュYMCA総主事ニブン・サングマ氏、ソウルYMCA会長リ・スハ氏、台北YMCA総主事ジェームズ・トウ氏

→ジャズヴォーカリストの飯田さつき氏とピアニストの森下滋氏。



↑代々の総主事の名が記されている聖書を、新総主事に引き継ぎました。(写真左から)廣田光司前総主事、古賀博牧師、菅谷淳 新総主事。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

【説教】明日に架ける橋

日本キリスト教団早稲田教会 古賀 博 牧師

1970年、アメリカの歌手「サイモン&ガーファンクル」が歌った『明日に架ける橋』が大ヒットしました。原題は「Bridge over Troubled Water(荒海に架ける橋)」。

この歌がこのところ改めて注目を集めています。2011年9月11日に起きた世界同時多発テロの追悼礼拝で、ある人はこの歌の一節を引用して祈りました。「私たちは分断と悲しみの世界の只中で、荒海に架ける橋になろう」。この人は絶望的な現実を前に自らが「架け橋になろう」と和解への奉仕を祈ったのです。多くの人がこの祈りに共感し、以降この歌は、世界の街角で歌い継がれるようになりました。

旧約聖書「創世記」9章は、「ノアの箱舟」の最後の場面ですが、神は40日にわたる洪水の後に、神と大地との間の契約のしるしとして虹を架けた、と記されています。天と地をつなぐカラフルな虹の架け橋は、今もなお多様性や共存、平和の象徴とされています。3〜4世紀に活躍したエウセビオスという司教は、キリスト教の使命を「分裂した世界において、まぎれもない架け橋として仕える」と語り継いでいます。

日本YMCA同盟は昨年、YMCAの方向性を表現するため、「したい何かが見つけられ、誰かとつながる。私がよくあるかけがえのない場所」というコンセプトを作成しました。YMCAにとって大切なのは、人と人のつながりを実現することではないでしょうか。孤立し、孤独を感じている人、抑圧や差別を受けている人、そのような人をつないでいく、青少年たちをつなぎ、豊かに育成する、このために橋を架ける。――これがYMCAの一つの使命だ、と私は思っています。

新しい総主事、そして彼をサポートする私たちには、この世界に橋を架ける役割が与えられています。荒海のような世界に、共存と平和の虹の橋を架ける、この働きのために私たちは新しい総主事と共に出発したいと思います。私たちの祈りや力がいかに小さくても、希望の未来をひらき、青少年を平和のうちに育成していく、そんな明日を拓く、こうした明日に架ける橋への祈りを、聖書からしっかりと聴き取りたいと思います。

(まとめ・広報室)

退任挨拶

廣田光司

奏楽は、オルガニストで本会理事の飯舘子氏。司会は会員の蔵知浩氏。来賓として、バンングラデシュ、ソウル、台北の各YMCA代表者から祝辞をいただいたほか、江古田教会の上林順一郎牧師、日本YMCA同盟総主事・島田茂氏、とちぎYMCA代表理事・鷹箸孝氏からも温かなメッセージを頂戴しました。

途中には、ジャズヴォーカリストの飯田さつき氏とピアニストの森下滋氏が演奏。力強く華やかな歌で、新たな出発をお祝いくださいました。

なお、廣田前総主事と菅谷新総主事からは、以下の挨拶がありました。

要約をご紹介します。

就任挨拶

菅谷 淳

第14代の東京YMCA総主事に就任いたしました。菅谷淳とさせていただきます。

私は大学卒業後、証券会社に入社しましたが、過酷なノルマと強引な営業に耐えきれず、1年足らずで退職しました。転職先も見つからず、絶望感の中で私は、大学時代の友人である古賀牧師に相談。上林順一郎牧師を紹介していただき、YMCAに入職しました。

最初の15年間は専門学校を担当し、その後はとちぎYMCAに9年間出向。熱意あふれる会員方々に家族ぐるみでお世話になりました。

東京に帰任後は、主に財務の仕事をさせていただきました。それぞれの場面には恩師とも言える先輩や会員がいて、本当に大切なことを教えられました。この出会いは、神さまが用意してくれた必然であるように今は思っています。どうぞご指導・ご協力をお願いいたします。

私のYMCAとの関わりは、小学生時代の神戸YMCA・余島長期少年キャンプに遡ります。以来、私にとってYMCAは、何かが見つかり、多くの人とつながることのできる大切な場所です。▼YMCAを支援するワイズメンズクラブに入会してからは、その活動も私の社会生活の大きな部分を占めるようになっていきます。▼今、日本のYMCAはブランドコンセプトに基づいて全事業・活動を見直し、その価値を高めようとしています。▼YMCAのブランドイメージを活動の基盤としているワイズメンズクラブにとっては、この取り組みに大いに期待しています。また、各ワイズメンズクラブの地域に密着した奉仕活動の推進によってYMCAのブランド力、社会的認知度のアップにつながることも願っています。▼他国に比べ、日本のYMCAとワイズメンズクラブは良い関係を築けていると言われていますが、両者が「ポジティブネット」を共有するパートナーとして、一層の協力、協働を進めていくことで、より豊かな地域社会が実現できると信じています。そのために与えられる務めがあれば、微力を尽くしたいと思います。(東京多摩みなみワイズメンズクラブ 田中博之)

赤三角

私のYMCAとの関わりは、小学生時代の神戸YMCA・余島長期少年キャンプに遡ります。以来、私にとってYMCAは、何かが見つかり、多くの人とつながることのできる大切な場所です。▼YMCAを支援するワイズメンズクラブに入会してからは、その活動も私の社会生活の大きな部分を占めるようになっていきます。▼今、日本のYMCAはブランドコンセプトに基づいて全事業・活動を見直し、その価値を高めようとしています。▼YMCAのブランドイメージを活動の基盤としているワイズメンズクラブにとっては、この取り組みに大いに期待しています。また、各ワイズメンズクラブの地域に密着した奉仕活動の推進によってYMCAのブランド力、社会的認知度のアップにつながることも願っています。▼他国に比べ、日本のYMCAとワイズメンズクラブは良い関係を築けていると言われていますが、両者が「ポジティブネット」を共有するパートナーとして、一層の協力、協働を進めていくことで、より豊かな地域社会が実現できると信じています。そのために与えられる務めがあれば、微力を尽くしたいと思います。(東京多摩みなみワイズメンズクラブ 田中博之)

